

2019（平成31）年2月4日

2学年保護者の皆さまへ

伊丹市立伊丹高等学校
PTA会長 亀島 博美
2学年部部长 南 由香

2学年保護者会だより

寒い日が続いていますが、皆さまお元気にお過ごしでしょうか。日頃はPTA活動へのご理解とご協力をいただきありがとうございます。

1月10日（木）に開催しました「2学年保護者会」のご報告をいたします。

（参加人数：保護者111名、教職員9名、合計120名）

1. 教頭先生ご挨拶（柴田 尚剛 教頭先生）

先日は学校評価の保護者アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。結果につきましては、3月の学校運営協議会を経て、改めてホームページで報告いたします。

さて学校の状況ですが、まずグラウンドの工事が現在行われておりますが、卒業式までに間に合う予定で進めております。また、3学期が始まって数日経っておりますが、インフルエンザが流行りだしている様子が伺えます。学校でも手洗い・うがいの徹底など注意喚起致しておりますので、ご家庭の方でもお気を付けください。

修学旅行ですが、様々な場面での生徒の自覚の下、大きな問題なく終えることができ、かつ大変有意義なものとなりました。アンケート結果での生徒の評価点も高く、特に食事に関しましてはこれまでの海外旅行引率の経験の中でも、満足度の高い結果だったように感じております。アンケートのコメントの例を紹介しますと、「期待以上だった」「もっと上手く伝えられるよう英語をもっと学びたい」「ベトナムの方の積極性に触れた」等、今回の修学旅行が生徒たちにとって、コミュニケーションについて深く考える機会になったように感じました。

進路に関してですが、2年生の3学期は3年生0学期という位置づけになります。そのように、早い段階から受験を意識して学習に取り組むことが大切です。受験にはフライングはありませんので、スタートは早ければ早いほど良い結果につながるものと思われます。また、3学期は期間が短いうえに2月・3月は高校入試等で生徒は自宅待機となる日もありますので、その間の過ごし方も大切になるかと思われます。

2. 修学旅行を終えて（DVD鑑賞） 30分

3. 2年進路講演会（リクルートマーケティングパートナーズ 山形 華 様）

「今やるべきこと」と題して、自分と向き合って進路を考える講演をしていただきました。

●「なぜ進学するのか」

- ・自分なりに進学する「目的」を考えておく。このことが大学で頑張る原動力になる。
- ・大学進学は専門的知識を得るのみならず、「これからの社会で必要な力」を身につけるために行う。現在、社会では「グローバル化」「IT化」が加速しており、「語学力」「専門的な技術・知識」に加え、「伝える・聞く・働きかける・協力する」といった多様な文化的背景を持つ人々と繋がるコミュニケーション力や「物事に柔軟に対応する・考え抜く・新しいものを生み出す」といった人間にしか発揮できない創造性が求められている。それらを身につけるために大学教育はある。

●「大学の学びで力がつく理由」

- ・上記の能力を身につけるために、大学には講義だけではなく、ディスカッション・ゼミ・グループワーク・フィールドワーク・インターンシップといった様々な学びの形式がある。
- ・ただし、このような学びの場があったとしても「自分から学ぶ」姿勢が無ければ、上記の能力が磨かれることはない。そういった意味で、いま「何を学んだのか（学部）」「どこで学んだのか（学歴）」以上に「どのように学んだのか（学習歴）」の重要性が増してきている。
- ・「自分から学ぶ」ためには、その分野が「学んでいて楽しい」ものであり、「好きになれる」ものであることが不可欠である。学びに対する主体的な参加が、社会で必要な力を磨く。真の意味で大学生活を教育的価値のある時間にするためにも「自分が何に興味を持っているか」をしっかりと考えて進路を選択する必要がある。

●「進学先選びを失敗しないために」

- ・進学先を辞めてしまう人は毎年約8万人（学生7、8人に1人の割合）存在する。また大学入学後、約3割の学生が「別の学部・学科、学校に行きたいと考えている」という現状がある。その原因のほとんどが「学校があわない・学校選択を間違えた」という進路の「ミスマッチ」である。現実問題として、非常に多くの学生が高校時代にしっかりと進路を検討できていない。
- ・現在、日本には777校の大学が存在する。たとえ学部名が同じでも、教員の考え方や、学校の施設・環境、カリキュラム、大学が掲げる教育イメージとそれに伴った進路先等、その教育環境は千差万別である。自分にとって何が大切なのかを明確にした上で、同じ系統の大学をしっかりと比較・検討することが大切である。その際には日本全国を視野に入れて、広い選択肢の中から考える事も必要になる。

●「なぜ二年生の今から志望校を考えないといけないか」

- ・三年生は非常に忙しい。時間のある二年生のうちに、たくさんの大学を調べ、進路を検討しておくべきである。特に、入試制度が変わるラストイヤーだからこそ、今からそれぞれの大学の入試に変更が無いかを確認しておくことは非常に重要である。
- ・7月～8月に実施されるAO入試や11月に実施される推薦入試を考えた時、既に「入試まで一年を切っている」と言える。それぞれの対策をするには、この時期からの動き出しが必要である。
- ・今ならば進学費用等についても、じっくり検討する時間がある。
- ・今の時期から進路先を検討しておくことで、春のオープンキャンパスの機会を効果的に使う事ができる。

●「まとめ」

- ・大学入試は、範囲が決まっている学校の定期テストと違い、高校の教育内容全てが出題範囲となる。早めの準備をしないとカバーしきれない。実際に、現役合格者の多くが二年生の三学期から受験勉強をスタートさせているというデータがある。
また、結局は学校の授業内容が入試で問われることになるので、まずは目の前の日々の授業に集中することが入試準備に繋がっていく。
- ・学校の中の順位だけにこだわるのではなく、全国のライバルの中で勝てる学力をつけるように意識する。
- ・『これ「で」いい』ではなく、『これ「が」いい』という選択をする。自分で決めて、自分で動くことが大切である。

このたびは、多くの保護者の皆さまにご参加いただき、第2回保護者会を無事に終えることができました。ご協力ありがとうございました。

当日はお忙しい中、柴田教頭先生をはじめ、各クラスの担任の先生方には大変お世話になり、心よりお礼申し上げます。